

プレゼンテーション(2)

第7回

スライドの作成について

スライド作成のポイント

- 必要以上に情報を詰め込まない
 - 文章ではなく、キーワードを書きましょう。スライドに文章が書いてあると、プレゼンターはそれを読もうとして、アイコンタクトができなくなります。一方、聴衆はスライドの文章を読もうとして、プレゼンターの話を見聞きできなくなります。
 - 1スライドは1トピックに限定しましょう。複数のトピックを書いてはいけません。
 - あるトピックが1枚のスライドで説明しきれない場合は、概要から詳細へと展開しましょう。いきなり詳細説明を羅列されるとわかりません。
 - 図は単純化しましょう。リアルな図は、よけいな細部まで目に入りますから、肝心のポイントを強調できなくなります。
 - フォントは明朝体を避け、サイズは28ポイント以上を心がけましょう。

今のプレゼンのどこが駄目？

スライド作成のポイント

- 必要以上に情報を詰め込まない
 - 文章でなく、キーワード
 - 1 topic / 1 page
 - 1枚に収まらないなら、概要から詳細へ展開
 - 図は単純化する
 - フォントは明朝体を避ける
 - サイズは28ポイント以上 (800 x 600 pt スライド)
- 背景図は大抵の場合不要
- 背景色はシンプルに
- 文字の色は3色以内で
- アニメーションは最小限の使用で最大の効果を

スライド作成のポイント

- 必要以上に情報を詰め込まない
 - 文章でなく、キーワード
 - 1 topic / 1 page
 - 1枚に収まらないなら、概要から詳細へ展開
 - 図は単純化する
 - フォントは明朝体を避ける
 - サイズは28ポイント以上 (800 x 600 pt スライド)
- 背景図は大抵の場合不要
- 背景色はシンプルに
- 文字の色は3色以内で
- アニメーションは最小限の使用で最大の効果を

スライド作成のポイント

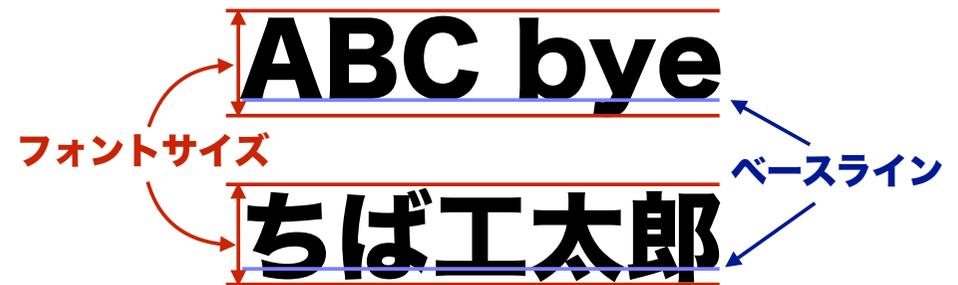
- ★ この字の大きさは見えますか？ (28 point)
 - ★ それでは、この字は大丈夫？ (24 point)
 - ★ これだとかなり小さいよね？ (20 point)
- ★ このフォントは見やすい？ (28 point)
- ★ それではこのフォントは？ (28 point)
 - ★ 小さくてもこのフォントなら見えますか？ (20 point)

800 × 600 pt サイズのスライドでの見え方

プロジェクトの解像度の例

通称	解像度	アスペクト比	総画素数
VGA	640×480	4:3	約31万
SVGA	800×600	4:3	48万
XGA	1024×768	4:3	約79万
SXGA	1280×1024	4:3	約130万
WXGA	1280×800	16:10	約102万
WUXGA	1920×1200	16:10	約230万
HD (720p)	1280×720	16:9	約92万
Full-HD (1080p)	1920×1080	16:9	約207万
4K	3840×2160	16:9	約830万

フォントサイズ



800×600 (SVGA) と1024×768 (XGA) では、
縦横 1.28 倍の違い

28 pt → 35.84 pt

20 pt → 25.60 pt

24 pt → 30.72 pt

48 pt → 61.44 pt

スライド作成のポイント

- ★ この字の大きさは見えますか？ (28 point)
 - ★ それでは、この字は大丈夫？ (24 point)
 - ★ これだとかなり小さいよね？ (20 point)
- ★ このフォントは見やすい？ (28 point)
- ★ それではこのフォントは？ (28 point)
 - ★ 小さくてもこのフォントなら見えますか？ (20 point)

800×600 (SVGA) サイズのスライドでの見え方

スライド作成のポイント

- ★ この字の大きさは見えますか？ (28 point)
 - ★ それでは、この字は大丈夫？ (24 point)
 - ★ これだとかなり小さいよね？ (20 point)
- ★ このフォントは見やすい？ (28 point)
- ★ それではこのフォントは？ (28 point)
 - ★ 小さくてもこのフォントなら見えますか？ (20 point)

1024×768 (XGA) サイズのスライドでの見え方

スライド作成のポイント

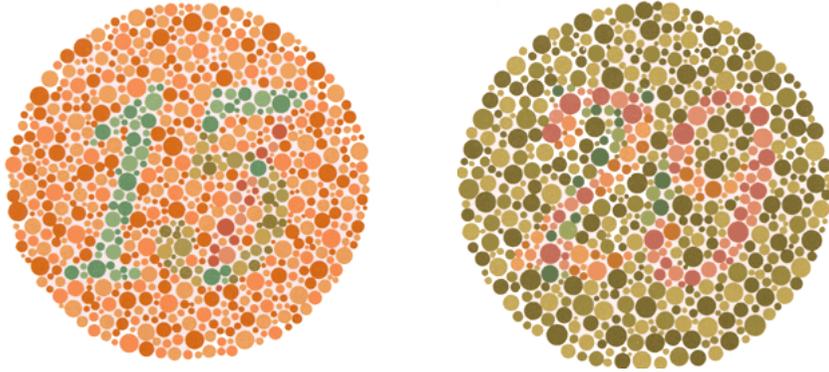
- ★ この字の大きさは見えますか？ (36 point)
 - ★ それでは、この字は大丈夫？ (31 point)
 - ★ これだとかなり小さいよね？ (26 point)
- ★ このフォントは見やすい？ (36 point)
- ★ それではこのフォントは？ (36 point)
 - ★ 小さくてもこのフォントなら見えますか？ (26 point)

1024×768 (XGA) サイズのスライドでの見え方

文字に関するチェック

- ゴシック体を使用する
- できるだけ大きな文字にする
- 網掛け、影付きに注意する
- 文字間隔、行間隔に注意する
- 余白を十分にとる

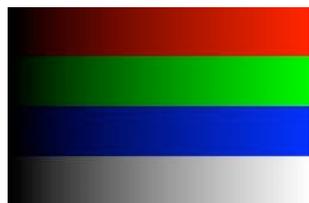
数字が読めますか？



配色に関するチェック

- 緑と赤の組み合わせを避ける
- 明るい黄色は白内障では白と混同するので使わない
- 背景に色を使う場合は、文字の大きさや濃さに注意
- 暖色系と寒色系、明るい色と暗い色を対比させる
- 色を多用すると見にくくなる場合があるので、むやみに色を使用しない
- 色だけでなく、書体や文字、下線、囲み枠など形の変化を併用する

色覚障害者の見え方



正常色覚RGBW



1型2色覚RGBW

男性

1/22 人

女性

1/600 人



3型2色覚RGBW



2型2色覚RGBW

全体の構成

SDS法

- (1) Summary (全体要約)
- (2) Details (詳細説明)
- (3) Summary (全体要約)

- (1) 聴衆者に、これから何を話すかを要約して概要を話す。
- (2) 本論を実際に詳しく話す。
- (3) 最後に、もう一度何を話したかをまとめる。

PREP法

- (1) Point (要点)
- (2) Reason (理由)
- (3) Example (具体例)
- (4) Point (要約)

- (1) 最初に、自分の言いたい結論を述べる。
- (2) 次に、その理由を述べる。
- (3) 具体例、実例、事例を挙げ相手を納得へ導く。
- (4) 最後に、もう一度自分の言いたいポイントを繰り返し締めくくる。

グラフを使いこなす

読み取り方を聴衆に任せない

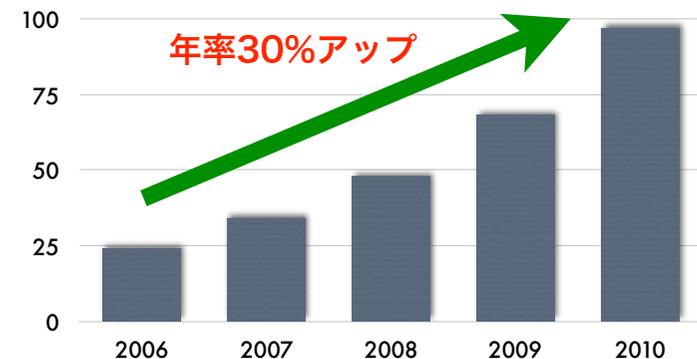


図1：B社の売り上げ推移

読み取り方を聴衆に任せない

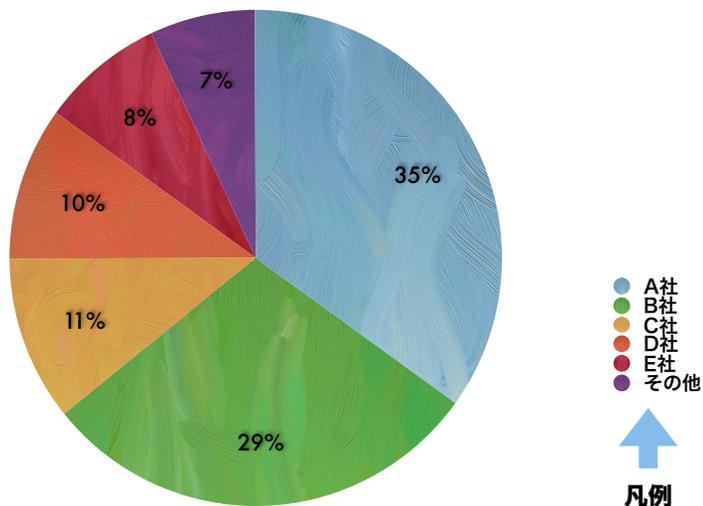


図2：売り上げシェア

読み取り方を聴衆に任せない

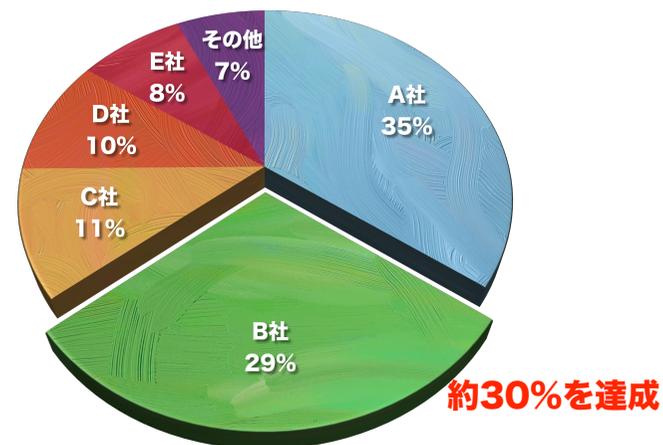


図2：売り上げシェア

読み取り方を聴衆に任せない

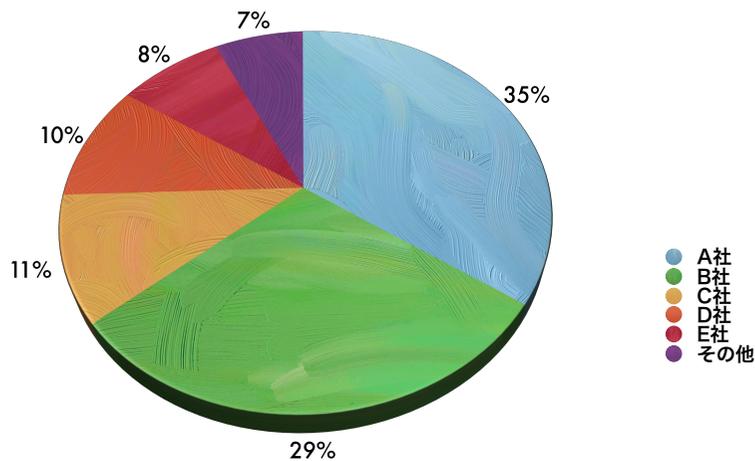


図2：売り上げシェア

表の見せ方

見やすい表を

パラメータ	値
変調方式	QPSK
FFT サイズ	128
ユーザ数	8
誤り訂正符号	畳み込み符号
通信路モデル	16パス指数減衰レイリーフェージング
正規化ドップラ周波数	10^{-4}
グループ割り当て法	ランダム割り当て

見やすい表を

変調方式	QPSK
FFT サイズ	128
ユーザ数	8
誤り訂正符号	畳み込み符号
通信路モデル	16パス指数減衰レイリーフェージング
正規化ドップラ周波数	10^{-4}
グループ割り当て法	ランダム割り当て

写真、グラフに関するチェック

- 色に頼らなくても情報を得られるようにする
- 写真の上に文字が重なる場合は、文字を縁取るなどして、背景と文字色に十分なコントラストをとる
- 線は実線同士で色だけ変えるのではなく、実線や点線、波線などの線種と色を組み合わせる
- 図の脇に凡例をつけず、図中に直接書き込む
- 塗り分けには、色だけでなく網掛けなどを併用する